News Spot

香川県は、韓国向けに輸出される食品に関する証明書発行の窓口を開設し、5月2日より受付を開始した。申請窓口は、県農政水産部農業生産流通課☎〇八七―八三二―三四二一

平成23年3月期は厳しい減益決算
大口与信先の経営破綻が響く
㈱中国銀行

中国銀行は、大口与信先の経営破綻の影響により大幅な減益となった平成23年3月期決算を発表した。

連結業績は、経常収益千三百六十二億七千三百万円（前期比〇・五％増）、経常利益八十一億千九百万円（同五五・七％減）、当期純利益は四十三億六千百万円（同五七・四％減）を計上。

セグメント別の業績をみると、銀行業における経常収益は前期比で〇・四％増の増収、経常利益は与信コストの大幅増加で六五・七％減とダウンした。

以下他のセグメント別に経常収益、経常利益をみると、リース業が減収減益、証券業は増収増益、その他は増収増益を達成した。

銀行の本業のもうけを示すコア業務純益は、三百二十八億円（前期比三十二億円減）とこれも大幅な減益に。

次に金融再生法に基づく不良債権額は千五百四十八億円と、前期比で四百十四億円増加した。

自己資本比率は、リスクアセットの減少を主因として一・二六上昇し、一五・〇七％となった。

単体業績は、経常収益一千二百億四千五百万円（前期比〇・四％増）、経常利益五十五億六千九百万円（同六五・七％減）、当期純利益三十一億九千九百万円（同六五・九％減）。一株あたりの年間配当金は当初の予定通り13円としている。

平成24年3月期の連結業績は、経常収益千二百五十億円、経常利益百七十五億円、当期純利益百五億円を予想している。

同行は、23年3月期の決算について、当初は利益的にも過去最高水準に近いレベルと見込んでいた。ところが今年2月に林原という大口与信先の経営破綻が発生。多額の貸倒引当金を計上するはめになった。

ただ損失処理を行った後でも、地方銀行の中では相対的に優位かつ十分な自己資本を有しており、経営基盤に問題はない。

役員異動（5月13日付け）

▼退任予定取締役　剱持　一（代表取締役専務）退任後は、中銀証券㈱代表取締役社長に就任予定

▼同　永原正大（常務取締役）退任後は、中銀カード㈱代表取締役社長に就任予定

▼同　戸田　豊（取締役人事部長）退任後は、中銀保証㈱代表取締役社長に就任予定

▼退任予定常勤監査役　田村政志（常勤監査役）退任後は、㈱CBS代表取締役社長に就任予定

役員報酬減額の件

「代表取締役頭取」月額報酬の20％減額「代表取締役副頭取」月額報酬の10・5％減額「代表取締役専務」月額報酬の10％減額「与信担当常務取締役」月額報酬の5・5％減額「常務取締役」月額報酬の5％減額（各一ヶ月）

さらに7月から来年6月までの一年間は、前年同期間の報酬総額に比して15％相当減額することを検討。

香川の家具と漆器を一同に展示

サンメッセ香川（高松市林町）において、恒例の「第74回香川の家具と新作見本市」。5月11日・12日が業者向け商談会、13日㈮から15日㈰までは一般を対象に「家具と漆器フェア2011」として、展示品の展示即売が行われた。

香川の地場産業として、古くから伝統のある家具と漆器。主力となっている座卓（全国シェア六割でナンバーワン）は、生活様式の変化などから生産量は伸び悩む。中国など新興国からの安い輸入家具の台頭も著しく、伝統の技を活かして、デザインや用途、販売方法などに独自性や意外性を加味し、新たな需要を掘り起こそうという動きもある。

販路は主に首都圏や近畿圏が多く、地元では工房に併設されたショールームやギャラリーなどで展示販売をしている会社が一部ある程度。

香川の漆器は、伝統的工芸品の指定を受けて、その技術は数多くの人間国宝伝統工芸士を輩出する。若手の作家による、気軽な普段使いの小物などに新しい可能性を感じる。

香川県家具商工業協同組合・香川県家具漆器工業協同組合が共催。今回の出展企業数は家具組合から6社七五点、漆器組合から34社一九〇三点、その他2社50点の総計42社約二千点という規模。

初日には式典とテープカットが行われ、主催者の香川県家具商工業協同組合理事長の榊原賢治大会会長が、「バブル崩壊以後の景気低迷で需要が落ち込む市場の中で、新製品、新技術、新販路の開拓に努め、今回は『素材の力、技の妙』を合い言葉に、良いものは消費者にとり、結局お得と考える。その成果を期待したい。」と述べた。

また来賓の浜田知事は、「伝統を守るためにも、一層の活性化で消費者から信頼され、愛用される製品づくりに一眼となって取り組んで欲しい」と期待を述べた。

高松市の大西市長は、「2期目のマニュフェストの中でも、伝統的ものづくりを守り伝え、発展させるための『ものづくり基本条例』を制定して、支援していきたい」として、公的にも支援をしていく考えを表明した。

森本海運㈱（高松市）が事業継続を断念

森本海運㈱（高松市城東町一―八―一二　森本厚子社長）は、4月19日に破産手続き開始決定を受けた。

帝国データバンク調べによると、昭和35年7月に設立された船舶貨渡業者。内航路の船舶貨与業務を行いピーク時には年商約二億五千万円を計上。しかし、景気低迷と輸送量激減により業況が悪化した。さらに創業者の前代表が死去したこともあって、夫人の現代表では回復への自信もなく継続を断念した。負債は約四億二千万円。

破産管財人は岸上貴重弁護士。

新たに松山支店を開設
愛媛エリアの拡充を図りメジャーを目指す
㈱ファミリーホーム

ピュアハウスシリーズの分譲住宅販売を手掛ける㈱ファミリーホーム（高松市寺井町一〇二四―一　千田善博社長）は、愛媛県下での住宅市場の拡充を図るべく、4月29日付けで松山支店を開設した。

松山支店の所在地は松山市土居町七三八―八。建物は3階建てで、松山ICから東方向の至近距離に立地する。スタッフは、松本茂幹チームリーダー以下5名体制で運営にあたる。

同社の分譲住宅展開は、香川県のほかに、徳島県、愛媛県、高知県の四国四県、さらに岡山県にも進出済。昨年7月は、県外拠点では初めて岡山支店を開設した。

愛媛市場に関しては5年前から進出しており、四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、伊予市、そして松山市と、ピュアタウンシリーズの分譲住宅販売を精力的に展開している。

従来は高松本社から直接担当者が現地に赴き販売営業を行っていたが、住宅購入顧客にメンテを含めて安心感を抱いてもらおうと支店開設を決めた。

「松山支店開設でお客様に対しきめ細かい対応が出来るようになった。これにより愛媛の販売戸数も30戸以上、売上げも最低5億円はキープしたい目標を掲げている。

来年は広島エリアの進出も視野に入れている。」（千田社長）

29日夜には松山市内のホテルにて支店開設記念パーティが開催され、香川、愛媛両県から金融機関関係者、協力業者が集った。

千田社長は、「愛媛エリアの住宅分譲は、今は点だが松山支店の開設を通して線にしていきたい。これからはメジャーの会社にしたい」と語り、支援を訴えた。

来賓で立った高松信用金庫の藥品常務理事は、

「全国的に住宅の販売戸数は減少しているなか、ファミリーホームとグループの日進堂は逆に伸びている。

その要因は顧客ニーズに合った住宅づくりに努め、高品質・低価格の住宅を提供していること。次に社員のやる気がすごいこと。最後に千田社長はしっかりとした経営理念を持っていること」

の3点を掲げ、支店開設を祝福した。

同社は、今年新卒者を6名採用して、来年も若い人材の確保に努める。社員数も母体企業の日進堂を含めたグループで百名近い人数となった。

千田社長の夢は住宅メーカーとして全国制覇を果たすことであり、日本一の会社を作ることにある。その実現に向け支店網の充実は不可欠となるし、今後も支店開設の加速度は増していくものと思われる。

総合広告代理店　株式会社アークプロジェクト
楽天ショップ
ファッション・雑貨・通販ショップ
HanaUta ハナウタ
ネット販売・出品は 0120-673-540

コープかがわがペットライフサービス

生活協同組合コープかがわ（高松市新北町一四―二七　木村誠理事長）は、組合員の暮らし全般に役立つという視点から、このたびペットライフに関する新サービスをスタートした。

ひとつは、トリミング、ペットホテル、ドッグランの送迎付きサービスの提供。高松市内の2店舗と提携、自宅まで送り迎えをおこなう。組合員特典として65歳以上もしくは障がい者は無料で送迎が受けられる。ただし送迎地域は制限があるので確認のこと。コープかがわ組合員割引は、提携店により異なる。

さらにペットの法要サービスも提供。高松市西植田町のさぬき動物霊園と提携、同施設で葬儀、火葬、納骨、法要までをおこなう。組合員特典は前出と同じ。割引きは火葬代金の5％オフ。

今後提携店を拡大し、将来的には県内全域でのサービス提供を目指す。

ペットを通じた組合員の交流の場、学びの場の提供にも積極的で、自慢のワンちゃん撮影会や写真展も展開している。

今後のスケジュールは次の通り。5月28～29日コープ志度、6月4日コープ観音寺、11～12日コープうたづ、18～19日コープ牟礼。

☎〇八七―八三五―六八〇〇

ビュートに特別仕様車「SaKuRa」登場
（認定中古車）
本革専用シート・
各種専用エンブレム等
お買い得な特別仕様で
基本価格の15万円高です（税別）
ビュート 平成14年式 基本価格 135万円～

※写真はイメージです
価格は一例です。詳しくはお問い合わせください。
MITSUOKA香川ショールーム 0120-21-0809
ホームページアドレス www.igamotors.com

News Spot

四国経済産業局は「観光サービスイノベーション交流セミナー」を6月3日㈮13時半～16時まで高松丸亀町レッツホールにて開催する。基調講演（中村雅子氏／㈱ジェイアール四国アーキテクツ取締役）パネルディスカッション。「四国大の観光サービスの地産地消」の取り組みについて議論を進める。